

楽楽館だより 第164号【令和3年2月度】

新年が明けたと思いきや、あっという間に3月を迎えました。マスクは不織布と布を重ねると良い、不織布マスク1枚をきちんと付けることが大切…等々、日々最新の情報にも変化があり、戸惑いもあることと思われませんが、感染症対策の基本として『手指衛生』はやはり変わらないようです。今年中の終息は難しいとの見通しがあるようですが、基本を守り、「うつらない、うつさない」の精神で何とか乗り越えていきたいと思えます。2月のご様子をお届けします。

◇～節分の豆まき～◇

令和3年の節分は、124年ぶりに例年より1日早い2月2日。楽楽館でも厄除けを願い、今年も豆まきを行いました。2号館では男性ご利用者様が鬼役をして下さいましたが、“ピースで出迎える全く怖くない”鬼さんで、癒しの豆まき会となりました☆



◇～皆さんの健康を作る昼食作り～◇



高齢者の身体を健康に保つためには…と考えると、“運動”が真っ先に思い浮かぶ方も多いかと思えます。たしかに体を動かすことはとても大切な要素であるのですが、同時に“栄養”を摂ることが重要だそうです。栄養を摂らずに体ばかり動かしていても、健康で丈夫な体はできません。楽楽館では、バランスの良い出来立てのお食事をしっかりと摂取していただき、それに加えて体をきちんと動かすことを重要視しています。写真のこの日はオムライス。調理担当のスタッフが、1・2号館分合計25枚も卵を焼きました！



◇～今月のナイスショット～◇



(写真・左・左下)

館内では、皆さんがご自分のできることを色々とお手伝いして下さいます。「してもらおう」のではなく、「人の為にしてあげる」ことが元気の源です(写真は101才のご利用者様)。

(写真・右)

ケアマネジャー事業所『介護の相談室』では、話題のZoom会議をしています。便利な時代ですね～。



(写真・左)

お昼休みのひとコマ。
「仲良しだもんね～」と、
最高の笑顔で。